

## 令和6年度 社会福祉法人ウィング 事業報告

今年度は、念願の第2グループホーム「なないろ」を開設し、6名の利用者の新しい生活がスタートしました。1年を通して「なないろ」が心地よい居場所として認識され、安定した暮らしが提供できていることは何よりの成果です。

一方で、さらなる人口減少時代に向かう中、近年の人材不足の課題は深刻さを増しています。採用につながるあらゆる手立てを講じているものの、離職者数に採用者数が追いついていない状況が続いており、取り分け、ショートステイや行動援護・移動支援等の利用ニーズに十分応えられていない状況にありました。また、定着についても採用から1年以内で離職する数も増加傾向にあります。人材確保・人材定着は今後も大きな課題であり、業務の省力化やICT活用、組織体制の在り方など、あらゆる面での取り組みを図り、持続可能な事業体を目指していかなければならないと考えています。

### 【法人本部】

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会福祉法人としての使命の追及</li> <li>○適正かつ公正な法人運営</li> <li>○積極的な情報公開・情報発信</li> </ul>
----------	--

### 1. 理事会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R6/6/5	理事5名 監事2名	令和5年度社会福祉法人ウィング事業報告並びに決算報告について、令和6年度社会福祉法人ウィング資金収支補正予算(第1号)について、第1回評議員会(定時)の開催について、
第2回	R6/9/5	理事6名 監事1名	令和6年度社会福祉法人ウィング資金収支補正予算(第2号)について、給与規程の一部改正について、きらり運営規程の一部改正について、そら(指定訪問介護等事業、居宅介護等事業、移動支援事業、生活サポート委事業)運営規程の一部改正について、令和6年度第2回評議員会の開催について
第3回	R6/12/12	理事5名 監事1名	社会福祉法人ウィング令和6年度資金収支補正予算(第3号)について、令和6年度第3回評議員会の開催について
第4回	R7/3/13	理事5名 監事1名	令和6年度資金収支補正予算(第4号)について、令和7年度事業計画並びに資金収支予算について、給

			与規程の一部改正について、そら移動支援事業運営規程の一部改正について、所長の任命について、令和6年度第4回評議員会の開催について
--	--	--	--

## 2. 評議委員会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R6/6/26	4名	令和5年度社会福祉法人ウィング事業報告並びに決算報告について、令和6年度資金収支補正予算(第1号)について
第2回	R6/9/25	書面決議 同意7名	令和6年度資金収支補正予算(第2号)について
第3回	R6/12/27	書面決議 同意7名	令和6年度資金収支補正予算(第3号)について
第4回	R7/3/24	6名	令和6年度資金収支補正予算(第4号)について、令和7年度社会福祉法人ウィング事業計画並びに資金収支予算について、定款の一部変更について、社会福祉法人ウィング役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について

## 3. 監事監査

- 開催日 令和6年5月31日
- 場 所 法人本部 会議室
- 内 容 令和5年度事業報告及び会計監査 結果：適正

## 4. 委員会関係

- 権利擁護委員会：会議12回
  - ・虐待防止に関する研修、身体拘束適正化に関する研修を実施した。
  - ・身体拘束の適正化に関する記録表の書式見直しを行った。
  - ・職員一人ひとりが行動規範を確認するためのツールを使用し、人事考課とともに振り返りを行った。
- 研修委員会：会議12回
  - ・新任研修(年5回)・法人全体研修は資料配布型(全職員対象ストレスチェックと分析結果)1回、集合型(メンタルセミナー)1回の計2回実施した。
  - ・研修委員会だよりの発行(年4回)
- 福利厚生委員会：会議6回
  - ・職員同士の親睦を深める親睦会としてボーリング大会を実施(10月)した。年

始にインフルエンザとコロナの感染者が確認されたため新年会は中止とした。

○感染症対策委員会：会議6回

- ・感染症に関する研修と訓練を各事業所にて2回、新任職員向けに研修を1回実施した。
- ・感染症対策指針に沿って感染状況の把握をし、各事業所と連携して感染対策を行った。

○スマイルフェス実行委員会：会議7回

第5回 smile∞smile fes 5月19日開催

かわじまスプリングフェスティバル同時開催

## 5. 事務局

- ・理事会・評議員会において、法人の経営状況・運営状況の適宜報告を行い、施設整備等新たな事業展開についても随時報告の上、適切に決議を行った。
- ・法人本部の移転に伴い、拠点間の連携や各委員会での情報共有、各議事録や申請書類等の様式やワークフローをグループウェア内で統一した。職員間の日常の連絡手段としてもグループウェア活用の幅が広がっている。
- ・4月の報酬改定で請求の返戻等は続いたものの、各事業での大きな混乱はなく、新規のグループホームなないろを含め、想定していた収支状況で年間を通して安定的に経営を行うことができた。
- ・法人の Instagram を始めたことで、事業や特色などの情報を発信できるようになり、法人を知ってもらうツールを増やすことができた。具体的な採用につながるように、今後も継続していく。
- ・業務の棚卸や洗い出しを行い、業務内容や質が賃金に反映されるよう、非常勤職員の賃金体系の見直しを行った。今後も定期的に個々のスキルチェックを行いながら、職員の定着につながる適宜改善しながら運用していく。
- ・中堅以上の職員を対象に組織活力分析を行った。また、法人全体研修ではメンタルヘルスをテーマに個々の心身状態のチェックを行い、職員の現状や組織としての傾向について分析を行った。そこで見えた課題については今後ひとつずつ取り組んでいく。
- ・新任職員向けに e-ラーニングを試験的に導入した。これを機に、職務等級を踏まえた目標や研修計画等を再考し、適した研修受講の手段等を検討していく。
- ・本部移転に伴う業務の変更や新規グループホームオープンのための新規職員の採用や手続き、報酬請求の準備等、必要な手続きや届け出等、滞りなく行った。また、センター移転についても、本部とセンター全体で連携しながら新たな形を整えることができた。

## I のびっこ拠点

### 【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型

重点 目標	<p>○利用者本人の想い・主体性を尊重し、日中活動の中でやりたいことが実現できるように支援する。</p> <p>○地域の中ののびっことして、授産活動を通じてより一層の地域交流をはかる。また、のびっこの取り組みを積極的にアピールしていく。</p> <p>○質の高いサービス提供を行うため、ご利用者・保護者、のびっこスタッフ間、法人事業所間など、直接的なコミュニケーションを大切にする。</p>
----------	---

#### 1. 【職員体制】

管理者・サービス管理責任者1名・嘱託医1名・看護師2名

生活支援員22名・職業指導員1名・目標工賃達成指導員1名

管理栄養士1名・調理員4名・事務員2名・運転手2名

計 37名（うち常勤14名）

#### 2. サービス提供実績

**契約者** 51名

生活介護：40名（退所2名：他生活介護事業所、医療介護施設）

就労B型：11名（退所3名：就労移行、就労A、介護保険サービス）

#### 利用者状況

性別	女性	男性	計	市町村	川島	川越	北本	計
生活介護	15	25	40	生活介護	37	2	1	40
就労B	4	7	11	就労B	10	1	0	11
計	19	32	51	計	52	3	1	51

  

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
生活介護	0	5	13	14	6	2	40
就労B	1	4	2	2	1	1	11
計	1	9	15	16	7	3	51

  

支援区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
生活介護	0	0	1	4	14	21	0	40
就労B	0	1	5	0	1	0	4	11
計	0	1	6	4	15	21	4	51

**工賃**

○就労支援 B 型 年間支給総額 3,891,266 円 (前年度 5,364,612 円)

平均月額 30,401 円 (前年度 34,611 円)

時給換算額 343 円 (前年 387 円)

○生活介護 年間支給総額 3,102,745 円 (前年度 3,275,850 円)

平均月額 5,492 円 (前年度 5,757 円)

授産売上	カフェ	パレット	ジャquette	エラン	マハロ	合計
2023 年度	13,745,360	2,083,460	3,052,759	222,664	2,574,527	21,678,770
2024 年度	13,309,502	—	3,029,782	293,468	3,568,216	20,200,968
前年度比	96.8%	—	99.2%	131.8%	138.6%	93.1%

R6 年度 通所実績数															前年度	前年度比
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
生活介護	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	—	
	契約者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40.0	100%	
	通所日	22	21	20	22	19	19	22	21	20	19	18	20	243	244	100%
	利用者延数	766	731	681	577	643	639	766	711	664	624	601	667	8,070	8,456	95%
	平均利用者/日	34.8	34.8	34.1	26.2	33.8	33.6	34.8	33.9	33.2	32.8	33.4	33.4	33.2	34.7	96%
利用率(定員比)	116%	116%	114%	87%	113%	112%	116%	113%	111%	109%	111%	111%	111%	116%	95%	
就労継続支援 B 型	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	—
	契約者数	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17.8	17.8	100%
	通所日	22	21	20	22	18	19	22	21	20	19	18	21	243	287	85%
	利用者延数	247	226	198	177	142	172	190	177	157	143	126	150	2,105	2,599	81%
平均利用者/日	11.2	10.8	9.9	8.0	7.9	9.1	8.6	8.4	7.9	7.5	7.0	7.1	8.7	9.1	95%	
利用率(定員比)	112%	108%	99%	80%	79%	91%	86%	84%	79%	75%	70%	71%	87%	91%	95%	

R6 年度 ランチサービス実績数															前年度	前年度比
ランチサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
利用者食数	981	903	891	797	772	804	904	851	816	766	705	799	9,989	9,722	103%	
	72%	72%	70%	68%	67%	69%	68%	67%	67%	66%	67%	67%	68%	66%	—	
職員食数	385	351	376	374	369	354	417	403	405	359	355	396	4,544	4,952	92%	
	28%	28%	29%	32%	32%	31%	32%	32%	33%	32%	33%	33%	31%	34%	—	
ボランティア他	0	5	8	3	3	1	2	9	3	12	10	6	62	58	107%	
	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	—	
総計	1,366	1,259	1,275	1,174	1,144	1,159	1,323	1,263	1,224	1,137	1,070	1,201	14,595	14,732	99%	

R6 年度 送迎サービス実績数(回数)															前年度	前年度比
送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
就労B型	244	237	195	154	127	149	146	138	129	86	72	102	1,779	2,784	64%	
生活介護	1117	1064	1021	858	977	1005	1187	1110	1085	1001	969	1072	12,466	12,165	102%	
合計	1361	1301	1216	1012	1104	1154	1333	1248	1214	1087	1041	1174	14,245	14,949	95%	

3. サービス実施状況

- ・一年を通じて職員の入替わりがあり、特に正職員の安定が大きな課題であった。年度末での退職もあり、次年度も引き続き募集を継続し定着できるようにはかっていく。
- ・新型コロナウイルスについては、6月末～法人内のグループホームから広がり、利用者・職員に複数の感染者が出た。休所対応は取らなかったが、欠席する利用者も数多く出た。

《生活介護》

**マハロ班 (製菓班)**

- ・新規グループホームに入居される利用者が複数名おり、各利用者の生活リズムや情緒面

の変化について最大限に気を配った。それ以外の利用者についても、特に変化がみられる場合には保護者や関係者とこまめに連絡をとった。

- ・会話が活発な利用者が増えたことで、利用者対職員のやりとりだけでなく、利用者同士の会話が aumentata。それにより班内の雰囲気も良い意味での変化があった。会話が難しい方とのコミュニケーションも重視し、本人の考えや思いをくみ取るよう努めた。
- ・授産においては対面販売先が固定されてきており、年間を通じて継続して販売を行うことが出来た。そのため、お客様との直接的な交流も継続できた。利用者も、販売へ行くことを目標に作業を頑張る姿が見受けられた。
- ・商品について、クッキーのバラエティを増やした。また、HACCPに基づく衛生管理を行うと共に、賞味期限シールに栄養成分表示を追加した。

#### ジャカッセ班（外作業班）

- ・職員の入退職が続き、安定した職員体制の構築が課題であった。そのため、安全面を考慮して、作業内容や回収ルートなどを見直し、作業の効率化を図った。
- ・昼休みや帰りの会前の時間を使って、利用者とは話す機会を増やした。また、作業中も作業の妨げにならない程度にコミュニケーションを図り、モチベーションの向上や穏やかな雰囲気作りに努め、利用者の想いに向き合った。
- ・地域の方に協力をいただいている回収作業は予定通りにおこなえた。現在のルートは定着しており、回収作業を通じて地域交流を図ることができている。町営公園の清掃作業やホンダエアポートの清掃作業も確実に実施している。
- ・作業中の利用者の様子や作業環境等については、班会議や夕方の時間を活用し、職員間で情報共有し、安心・安全な作業を提供できるよう努めた。利用者の状態に変化が見られた際は、その都度話し合い、より適切に支援が行えるように努めている。保護者や各関係機関との情報の共有も意識しておこなった。

#### エラン班（紙すき班）

- ・利用者の特性や強みを引き出せるように支援をおこなった。利用者の言葉以外の表現方法や見守り、声かけのタイミング等にも注目し支援を行うように努め、職員間での共有を促している。また保護者、他事業所とも連携しながら支援にあたるよう努めた。
- ・通所が不安定な利用者について、サービス管理責任者や他職員とも相談しながら、状況の把握、保護者との情報共有に努め、支援につなげられるように努めた。
- ・作業日誌等の書式変更をおこない、その他支援に関するマニュアルも作成し職員間で活用している。
- ・授産作業については、名刺、コースター等でコンスタントに注文を受けた。またイベントの景品として大量注文も受け、利用者の作業へのモチベーションになった。カフェの店内やイベント販売時のブースにも出品し、エラン班のPRもおこなった。

#### 《就労継続支援B型》

- ・今年度より、営業日（通所日）を生活介護と合わせる形で、土曜日を休み、月曜日を営

業日とした。当初は売り上げの落ち込みもあったが、後半になり盛り返した。

- ・それに伴い利用者工賃も当初の想定通りに支給することができた。
- ・利用者は、ホール・キッチンという枠組みの中で作業分担をしているが、利用者が得意とする作業は入れ替わっている。そのため利用者の意向を確認しながら得意とする仕事が更にステップアップ出来る様に支援した。売上目標も利用者で共有し、月の売上の確認も利用者と一緒にいった。
- ・物価高騰に伴い、一部カフェメニューの値上げを行った。一方弁当については、消費者のニーズを踏まえ、食材の見直しや箸・おしぼりの有料化をし値下げを行った。
- ・「美味しさ」「写真映えする」メニューを日々提供しており、SNSでの発信を通してPRしてきた。YouTubeチャンネル掲載をしていただき、カフェの情報を幅広く発信できた。
- ・にこにこの清掃作業（委託）は継続して実施している。

#### ランチサービス

- ・年度初めに「昼食に関するアンケート」を実施し、利用者個々の希望や嗜好・アレルギーについての情報収集を行った。個々の利用者の食事内容の変更は適宜対応した。
- ・11月の青空まんぷく会は強風のため室内での実施となったが、ポスター掲示、お品書き等で雰囲気を出した。他にも行事においては担当職員と相談し、行事に合わせたメニューを取り入れた。
- ・物価上昇の影響でほとんどの食材が値上がりしており、献立内容の工夫をおこなった。

#### 年間行事

昨今の猛暑の影響を鑑み、従来行っていた「夕涼み会」を中止し、新たに「秋まつり」を実施した。

入所式（4月）、のびっこ春まつり（5月）、日帰り外出（10月）・

青空まんぷく会（11月）・手をつなぐスポーツ教室（11月）、秋まつり（11月）、クリスマス会（12月）、成人を祝う会（1月）

#### 健康・衛生管理

利用者健康診断（4月/11月）、職員健康診断（5月）、体重測定（月1回）

保健便り（年4回）、服薬管理、感染症に関する講習会、救命救急講習会（2月）

保健衛生関係備品の整備、他

【看護師】消毒清掃・検温チェック等感染症対策の徹底、服薬管理、嘱託医との連携、利用者保護者の健康相談、緊急時の通院同行、など

#### 保護者会

5月・9月・12月・3月に実施した。9月は土曜日に保護者懇談会を実施し、交流をはかることができた。毎年7月に保護者の皆さまにご協力いただいた除草作業は、昨今の夏の猛暑を踏まえて中止とした。

#### 実習生等の受入

通常どおりの日程で受け入れた。感染防止対策を講じて受け入れを行った。

特別支援学校生徒：2校3名

#### ボランティア

通常時のボランティアの受け入れはなかったが、秋まつりなどの行事の際の受け入れをおこない、協力していただいた。

#### 4. サービス向上の取組

##### 職員研修・会議

###### ○外部研修

福祉職員キャリアパス研修、感染症予防基礎研修、感染症予防応用研修、メンタルヘルス研修会、感情マネジメント研修、精神保健福祉研修、日中活動支援部会全国大会関東地区埼玉大会

###### ○内部研修

緊急時の対応（4月）、安全運転（6月）、食中毒と熱中症対策（7月）

権利擁護（職員倫理綱領等）（8月）、権利擁護（虐待防止）（9月）

発達障害の理解（外部講師）・感染症対策（発熱時対応）（10月）

安全運転・感染症対策（手指衛生）（11月）

感染症対策（個人防護具装着法）（12月）、権利擁護（虐待防止）（1月）

救命講習（外部講師）・権利擁護（身体拘束）（2月）

###### ○スタッフ会議（毎月）・運営会議（毎月）

##### 危機管理対策

各報告については朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・班連携会議等で共有・対応の検討を行い、事故の未然防止や支援向上に努めた。但し、ヒヤリはっとに関しては規模に比べて提出枚数が少ないため、より一層の啓発を行う必要がある。

###### ○ヒヤリはっと 20件（前年度33件）

内容：支援中（暴力・行方不明・接触）10件

送迎中（送迎・車両等）10件

###### ○事故報告 8件（前年度19件）

内容：利用者による他害（4）・車両の接触・脱輪・追突された（3）・服薬忘れ（1）

###### ○苦情報告 0件（前年度1件）

###### ○防災訓練・点検

・消防避難訓練（5月・11月・3月）、防災総合訓練（11月）、  
洪水想定通報訓練（3月）

・自主点検（4月・10月）、消防施設の点検（4月・10月）

## II かわじま地域生活支援センター拠点

### 【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】

特定相談支援・障害児相談支援

彩の国あんしんセーフティネット（生活困難者相談支援・就労支援）

重点 目標	<p>○ご本人やご家族の希望を大切に計画作成し、チームで支援にあたる。その過程で、意思決定支援を更に深め、広めていく。</p> <p>○相談支援の中で、地域とつながる機会をより一層創出していく。</p> <p>○川島町の地域力アップへきらりとしての働きかけをおこなう。</p>
----------	--

#### 1. 職員体制

管理者1名・相談支援専門員3名（管理者兼務1名） 計 3名

#### 2. サービス提供実績

##### 契約者

・利用契約……158件（新規11件・終了5件）

性別	児童	成人	計	主な障害	児童	成人	計
女	14	46	60	知的	34	83	117
男	20	78	98	身体	0	9	9
計	34	124	158	精神	0	31	31
				難病	0	1	1
				計	34	112	158

援護市町村	児童	成人	計
川島町	29	113	142
川越市	3	6	9
吉見町	1	0	1
入間市	1	0	1
北本市	0	1	1
桶川市	0	1	1
さいたま市	0	1	1
越谷市	0	2	2
計	34	124	158

## 利用実績

・計画作成…延149件 ・モニタリング…延415件 ・認定調査…49件

月別実績		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年	前年比%
児童	計画	7	0	3	3	2	3	4	4	2	3	3	3	37	37	100
	モニタリング	8	6	10	7	4	4	5	3	4	5	2	6	64	45	142
成人	計画	8	12	9	11	6	5	10	4	13	12	11	11	112	89	125
	モニタリング	21	40	39	31	31	27	21	26	34	15	31	35	351	372	94
全体	計画	15	12	12	14	8	8	14	8	15	15	14	14	149	126	118
	モニタリング	29	46	49	38	35	31	26	29	38	20	33	41	415	417	99
認定調査		4	8	1	2	6	4	3	5	3	5	2	6	49	25	196
生活困難者		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	300

### 3. サービス実施状況

- ・意思決定支援を重点テーマに年間を通して実践した。障害の重い方であっても担当者会議に本人が参加されるようお願いをした。その結果、離席せず話を聞いていたり、詳細は理解できなくてもその場にいることを笑顔で受け止めていたりなど、予想に反して本人の意思がそこにあることを実感できた。また、家族の入所施設希望はあったものの本人の意思を確認しながら支援を行った結果、グループホームにつながったケースや本人の要望を聞いてお墓参りが実現したケースなど、さまざまな場面で意思決定支援の大切さを実感した1年であった。
- ・本人の怪我や家族の緊急入院など自宅生活困難な緊急事態ケースについて、関係機関・サービス提供機関とのネットワークを生かし、速やかな短期入所利用ができた。日頃のネットワークづくりの重要性を改めて実感した。
- ・利用者ニーズに応じて、新たなサービス提供事業所の開拓に努め、利用者ニーズに添ったサービス提供が実現した。関係するサービス提供事業所の数や種類が増えている。
- ・事業所パンフレットの作製はできなかったが、児童・成人ともに契約数が増えている。

### 4. サービス向上の取組

#### 職員研修・会議

##### ○外部研修

意思決定支援（県社協主催/1名）・相談支援従事者現任研修（県社協主催/1名）

##### ○内部研修

虐待防止（事例検討）、身体拘束適正化（動画視聴・事例検討）、感染症（基礎知識やノロウイルスなど研修・手指衛生やPPE着脱等の訓練）

○地域ネットワーク会議等

- ・川島町精神情報交換会（月1回）…事例検討・GSVなど
- ・基幹相談支援主催研修（年2回）に参加し、連携を深めた。
- ・比企障害児NETの研修会（年2回）の運営に参画
- ・県主催サービス管理責任者研修のファシリテーターとして1名（2回）参画
- ・例年行ってきた、きらり主催の川島町内関係機関事例検討会は、前述の川島町精神情報交換会にて実施されるようになったため終結とした。

○スタッフ会議（月1回）

**危機管理対策等**

- ヒヤリはっと 1件（前年度0件）
- 事故報告 0件（前年度1件）
- 苦情報告 1件（前年度0件）…担当替え要望
- 保健衛生管理 感染症対策研修の実施、マスク着用・手洗いの励行 他  
インフルエンザ予防接種の補助奨励・職員健康診断（5月）

**【ライフサポートそら】**

居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意思決定支援を学び、支援につなげていく。</li> <li>○サービス（支援）の質の向上</li> <li>○ニーズに応えられる体制づくり</li> <li>○新たな体制づくり</li> <li>○地域とのつながりを大切にするについて</li> </ul>
----------	--

1. 職員体制

管理者1名・サービス提供責任者2名（管理者兼務1名）  
 正職員5名（管理者・サビ提兼務1名） 常勤パート1名（サビ提兼務・時短勤務1名）  
 登録型ヘルパー22名 計26名

2. サービス提供実績

**契約者及び利用実績**

事業別	契約者（前年度）	利用実績／年間（前年度）
障害（居宅介護等）	51名（49名）	7,006.5時間（7,489.5H）
介護（訪問・予防）	4名（6名）	448.5時間（578H）
移動支援	56名（61名）	1,825.5時間（2,199.5H）
生活サポート	86名（89名）	2,010.5時間（2,597.5H）
るんるん	17名（17名）	延参加333名（337名）

行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護／月別利用実績																
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
援行 護 護	契約者	27	27	27	27	27	27	27	27	29	29	29	27.5	26.9	102%	
	利用時間	354.5	384.5	371.5	294.0	387.5	367.0	350.0	373.5	344.0	371.0	393.0	419.5	4,410.0	4,868.5	91%
訪重 問度	契約者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%	
	利用時間	12.0	12.0	16.0	12.0	15.5	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	16.5	156.0	166.5	94%	
介居 護宅	契約者	18	21	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19.5	17.8	110%	
	利用時間	182.0	208.0	204.5	214.5	168.5	179.0	192.0	174.5	164.5	168.0	161.5	168.5	2,185.5	2,215.5	99%
援同 護行	契約者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	3.0	100%	
	利用時間	28.5	19.0	22.5	14.0	21.0	22.5	17.0	26.5	19.0	21.5	19.5	23.5	254.5	239.0	106%
合計	契約者	49	52	51	51	51	51	51	50	50	52	52	51.0	51.2	100%	
	利用時間	577.0	623.5	614.5	534.5	592.5	580.5	571.0	586.5	539.5	572.5	586.0	628.0	7,006.0	7,489.5	94%
居宅 介 護内訳	身体介護	156.5	188.5	185.0	190.5	158.5	164.5	173.5	166.5	156.0	146.5	143.5	167.5	1,997.0		
	通所等介助(身有)	17.5	11.5	9.5	14.0	10.0	14.5	18.5	8.0	8.5	10.5	6.5	12.0	122.5		
	家事援助	8.0	8.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	11.5	6.0	64.5		
訪問介護・予防訪問介護／月別利用実績																
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
介訪 護問	契約者	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	4.0	4.8	83%	
	利用時間	27.50	28.00	26.50	28.00	26.50	26.50	28.00	26.00	24.50	23.00	20.00	21.00	305.50	429.00	71%
訪予 問防	契約者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%	
	利用時間	12.00	13.00	12.00	14.00	10.00	13.00	13.00	12.00	12.00	12.00	8.00	12.00	143.00	149.00	96%
合計	契約者	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4	5.0	4.9	102%	
	利用時間	39.50	41.00	38.50	42.00	36.50	39.50	41.00	38.00	36.50	35.00	28.00	33.00	448.50	578.00	78%
移動支援・月別利用実績																
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
身介 護 護	契約者	33	33	33	33	32	32	32	32	32	32	32	32.3	33.8	96%	
	利用時間	87.0	81.0	91.0	58.5	73.0	73.0	86.5	81.0	88.0	74.5	71.0	79.0	943.5	1,196.5	79%
身介 な 護 護	契約者	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24.8	25.7	96%	
	利用時間	81.5	92.5	90.0	45.0	59.5	85.0	59.0	77.5	63.5	57.0	77.5	94.0	882.0	1,003.0	88%
合計	契約者	58	58	58	58	57	57	57	57	56	56	56	57.1	59.5	96%	
	利用時間	168.5	173.5	181.0	103.5	132.5	158.0	145.5	158.5	151.5	131.5	148.5	173.0	1,825.5	2,199.5	83%
生活サポート・月別利用実績																
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
利 用 実 績	契約者	84	84	84	84	84	84	84	85	85	86	86	84.7	88.3	96%	
	利用者実人数	53	53	49	45	46	49	49	51	47	47	46	45	48.3	53.8	90%
	利用時間	177.0	174.0	169.5	156.5	189.0	180.0	170.0	175.5	149.0	144.5	145.5	180.0	2,010.5	2,587.5	78%

### 3. サービス実施状況

- ・ 本年も3月6日開所し、利用者・家族の生活に寄り添い支援した。
- ・ 交通事故や転倒・骨折等の緊急通院、家族状況による緊急利用など突発的なニーズにも応じてサービス提供を行った。
- ・ 必要に応じ関係機関（行政・医療・訪看・ケアマネ・相談員等）と連携し利用支援を行った。
- ・ 職員体制として、前年度の複数退職者（主に女性）の影響もあり、利用希望に十分こたえられる状況になかった。GHの居宅介護（朝の身支度、夕方の入浴）中心に登録ヘルパー女性4名が入職し、早朝、夕方の派遣は安定した面はあるが、全体としては職員の男女比のバランスの悪さは引き続けている。
- ・ 前年度と比較して、全体として利用時間が減少している。対応できるヘルパー確保が困難な状況にあることが主な要因である。
- ・ 5月の第2GH開所に伴い居宅介護の増加が見込まれたが、契約者は若干増えたものの利用実績は前年度とほぼ横ばいの数値となっている。また入居者の利用を見直した部分もあり、行動援護、移動支援は全体的に減少傾向となった。
- ・ 前年に引き続き、人材確保は課題であり、利用の多い方を中心に利用日時の変更やお断りを行いながら対応している。グループ外出は特に希望が高く、月平均1～2名ペースではお断りとなっている。可能な限り別日に変更しての対応は行った。

- ・余暇外出の派遣回数が増えたことで、情緒不安定にならないように利用者がより楽しめるよう1回の派遣内容の充実を重視し対応した。

### るんるんクラブ

○登録者数 17名 (川島町内 17名、川島町外 0名)

○発表の場 ウィングフェス(5月)

フラダンス川島町生涯学習フェスティバル(11月)

工作作品…川島町中央文化展展示(11月)

プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	回
ダンス	7	6	6	6	8	7	8	7					55	8
調理			8					8				8	24	3
音楽					8								8	1
書道										7			7	1
工作	8	7				8	9						32	4
かるた											8		8	1
年賀状作り									8				8	1
フラダンス									7	8	8	8	31	4
ドッジビー										12	12	12	36	3
ウォーキング	10	10					11	12					43	4
ポッチャ			10	11	10	10							41	4
ドッジボール									12				12	1
キッズ	3	3	2	3	3	1	2	1	2	3	2	3	28	12
合計	28	26	26	20	29	26	30	28	29	30	30	31	333	47

### グループ外出

月 日	内容	場所	参加人数
4月13日・14日	川越散策	川越市街、菓子屋横丁	12名
5月11日・12日	東村山に行こう	東村山	13名
6月1日・2日	りっくんランドに行こう	りっくんランド	14名
7月6日・7日・14日	羽田空港に行こう	羽田空港	2名
8月3日・4日	品川水族館へ行こう	品川水族館	13名
9月7日・8日	鉄道博物館へ行こう	鉄道博物館	14名
10月5日・6日	バーベキューをしよう	のびっこ	12名
11月9日・10日	動物に会いに行こう	上野動物公園	10名

12月7日・8日	築地へ行こう	築地場外市場	11名
1月11日・12日	初詣に行こう	東松山・箭弓神社	12名
2月1日・2日	競馬場に行こう	東京競馬場	13名
3月1日・2日	中華を食べよう	元町・中華街	14名
年間総数：実施回数／25回 延参加人数／140名			
ヘルパー確保できず断った数／21名			

※7月は感染症拡大のため見合わせ、必要な方だけの個人外出となった。

#### 4. サービス向上の取り組み

##### 職員研修・会議

○外部研修（参加者0名）

○内部研修

虐待・権利擁護（2回）・感染症研修（2回）

意思決定支援（2回）・個人情報取り扱い（1回）・高齢者接遇（1回）

安全運転講習（資料配布）

○会議

スタッフ会議（毎月）

個別支援会議（毎月※1月～3月以外）

##### 危機管理対策

○ヒヤリはっと 12件（前年度7件）

不穏時、発作時の対応（突発的な行動全般）・急な走り出し・異食の恐れ・

物品の管理ミス・持ち物の忘れ、等

○事故報告 22件（前年度18件）

派遣場所間違い2・車両事故3・ケガ1・派遣遅刻8・忘れ3・物品忘れ1・

服薬忘れ1・失禁1・自傷他害1・接遇対応不備1

○苦情報告 2件（前年度2件）

サービス内容に関する苦情：ガスコンロ消し忘れ・ヘルパー対応の家族から不満

○保健衛生管理

職員健康診断（5月）

感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他

##### その他

そら通信・るんるん通信の発行（各12回／年）

### Ⅲ にじ拠点

#### 【グループホームにじ】 共同生活援助

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の権利、利用者の意向を尊重した生活を支援する</li> <li>○第2グループホームの設立に伴い新規利用者の新しい生活の安定に注力する。</li> <li>○保護者、他事業所、他機関など外部機関との連携を強化する</li> <li>○地域の中のグループホームとして、開かれたホーム運営を心掛ける</li> </ul>
----------	---

#### 1. 【職員体制】

所長 1名・管理者兼サービス管理責任者 1名・看護師 1名（のびっこ兼務）

世話人兼生活支援員 3名・世話人 6名・生活支援員（夜間・休日） 8名

計 20名（うちパート 15名）

#### 2. サービス提供実績

##### 契約者

・定員 12名 ・年間利用実人数：12名

・出身地：川島町 12名

・利用者支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	6	計
人数	0	0	1	0	5	6	12

・年齢

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
人数	0	0	2	6	2	2	12

##### 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	6	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	-
延利用	180	307	306	303	287	301	316	300	305	283	281	304	3,473
利用率	100	82	85	81	77	83	84	83	81	76	83	81	82
定員比	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

#### 3. サービス実施状況

・5月より新規グループホーム（なないろ）が開所し、ホーム2か所体制となる。

・なないろホームは、週末や祝日はご実家に帰省する形をとりつつ、2月より祝日日中の支援もおこなう。想定していたよりも早い段階で利用者も新しい生活に慣れた様子で、平日はホーム、週末はご自宅で過ごすペースも定着した。

- ・にじホームについては一年を通じて入居者の入れ替わりはなく、2名が年に数回外泊を伴う帰省をされた以外は、毎日利用していただいた。
- ・6月末に、ホーム職員よりコロナウィルスの発生があり、にじ・なないろともに利用者・職員ともに複数名が感染するも、ホーム内で支援をおこない、重症化する方もいなく、無事に復帰できた。
- ・権利擁護については、適宜職員に啓発をおこなう。また職員向けの研修をおこなう。生活の場における支援ということもあり、距離感やプライベートな空間を大切にすると共に、利用者間の関係、コミュニケーションを大切にした。
- ・ホームが増えたということで職員も増員になり、課題に対して複数名で対応するように努めた。また通院等健康面についての課題には看護師とも相談し、利用者の健康維持に努めた。
- ・保護者とも随時コミュニケーションを取り連携させていただいた。なないろでは、保護者懇談会を実施、終了後に利用者と共に花火大会をおこない、交流を深めた。
- ・支援については両ホームともに、入浴や着替えについて個別ヘルパーを導入している方もおり、きめ細かい対応をしている。
- ・月1回メンバー会議を実施し、利用者同士で司会や進行などを決めるとともに、個別掃除日を決めて、居室内清掃を実施している。
- ・地域活動は、にじホームについては、町の美化運動や種まき運動のお誘いがあり、参加できるときには利用者とともに参加している。なないろホームについても、2025年度から地元自治会に加入し、より一層の交流を進めていく。

#### 4. サービス向上のための取組

##### 職員研修・会議

- 外部研修 埼玉県障害者グループホーム職員研修
- 内部研修 緊急時対応（1回）・感染症対策（2回）・権利擁護虐待防止研修（2回）
- スタッフ会議（毎月）・常勤職員会議（毎月）

##### 危機管理対策

- 防災関係
  - 消防避難訓練（7月・3月）・洪水時避難確保計画に伴う訓練（8月）
  - 定期点検：自主点検（毎日）・業者設備点検（5月・11月）
  - 消防署立入検査（6月／異常なし）
- ヒヤリはっと 28件（前年度22件）
  - 利用者同士のトラブル（8）・怪我（2）・利用者の他害（2）・所在把握（2）・むせこみ（2）・他
- 事故報告 1件（前年度6件） 行方不明（1）※埼玉県に報告済み
- 苦情報告 1件（前年度0件）

#### IV ここにこぬくぬく拠点

##### 【ここにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

重点 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども同士が心地よい時間を共有できる。</li> <li>○個々の利用者の意思決定を後押しし、やりたいことを実現する。</li> <li>○支援の根拠を職員間で共有し、つながりのある支援を行う。</li> <li>○人権、権利擁護に関する職員への啓発、取り組みを繰り返しおこなう。</li> <li>○安心して利用していただけるように様々な場面を想定して堅実に取り組み、状況に合わせて工夫した活動をおこなう。</li> </ul>
--------------	---

##### 1. 職員体制

管理者 1 名・児童発達支援管理責任者 1 名(管理者兼務)

保育士 5 名・児童指導員 6 名・指導員(福祉サービス経験者含む) 3 名・事務員 1 名・  
計 16 名(うち常勤 5 名)

##### 2. サービス提供実績

契約者 31 件/定員 10 名

放課後等デイサービス・・・ 30 名 児童発達支援・・・・・・・・ 1 名

##### 契約者状況

性別	女性	男性	計
放課後等デイサービス	17	13	30
児童発達支援	0	1	1
計	17	14	31

市町村	川島	川越	吉見	東松山	鶴ヶ島	桶川	北本	計
放課後等デイ	11	14	2	0	2	0	1	30
児童発達支援	1	0	0	0	0	0	0	1
計	12	14	2	0	2	0	1	31

学校・学年別	児童発達	放課後等デイ				計
	未就学	小学部 1~3年	小学部 4~6年	中学部	高等部	
川越特別支援学校		3	6	4	2	15
ひばりが丘特別支援学校		1	1	4	0	6
上記以外	1	3	4	1	1	10
計	1	7	11	9	3	31

### 利用実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
開所日	26	27	25	27	23	25	27	26	24	24	24	26	304
利用延数	264	289	254	294	227	249	299	281	249	279	251	297	3233
平均利用 /日	10.2	10.7	10.7	10.9	9.9	9.9	11.1	10.8	10.4	11.6	10.4	11.4	10.6

※児童発達支援は、年間利用延べ数 67 人の利用（全体の 2.0%）

### 3. サービス実施状況

- ・年間平均利用率は 106.3%。放課後等デイサービスについて昨年度末に 4 名が卒業した。今年度は開始時で小学校 1 年生 3 名新規利用。その後も新規利用 4 名増加。また、10 月に他事業所の閉鎖に伴い利用を増やしたケースもあり、利用数は昨年度よりかなり増加した。児童発達支援については利用 1 名で変わらず、利用頻度も変わらなかった。今年度で児童発達支援の対象から外れ、来年度より放課後等デイサービスに移行するため、次年度開始時は児童発達支援の利用者は 0 になる予定。
- ・コロナウィルスやインフルエンザ、溶連菌等をはじめとした体調不良による急遽のキャンセルも多く発生した。一方で追加利用の依頼も一定数あり、出来るだけお受けできるように努めた。
- ・多様な障害特性の方を受け入れており、当日の利用人数や児童の障害特性などを考慮して毎日の活動プログラムを計画してきた。昨年度よりも利用者数も増えているため、机の配置やイスの置き方等スペースの工夫をして対応した。年齢幅や障害特性の違いの中で、お互いを感じて関係を作っていくこと、お友達・仲間づくりが出来るように努めた。季節を感じてもらえるような活動制作と共に、昨年度同様にイベント活動も取り入れた。春には公共交通機関を使つての森林公園外出。夏にはプールや夏祭りや冬にはクリスマスケーキ作り等、イベント活動も取り入れ実施した。また、初めての試みとして、秋に保護者会・交流会を兼ねて、親子参加のバス遠足（茨城県イバランド）への外出も実施して好評であった。
- ・重度の利用者を対象とする「個別サポート加算」対象者が多く在籍しており（全体の 7 割超）、職員加配加算を取得し、その日の利用者の特性を考慮した職員配置をおこなっている。
- ・児童発達支援管理責任者の主導の下、個別支援計画作成と、その計画をもとに充実した支援がおこなえるように記録や確認事項など改善。9 月・3 月に個別支援検討会議をおこない共通認識を図り支援に努めた。
- ・連絡ノートや送迎時の引継ぎ、個別面談等により保護者とのコミュニケーションに出来る限り努めた。尚、個別面談は、基本的に来所面談として年 2 回実施した。

- ・医療的ケア児の利用はなく、今後の見通しとしても専門性の高い他の事業所の利用が考えられる。受け入れの希望があった際に受け入れられるか検討していく。利用されている方の体調把握をよりおこなうように実施した。
- ・送迎サービスのニーズは高く、川島町という地域の特性上、送迎方面が多岐にわたっている。そのため効率的で安全な送迎体制に努めた。

#### 4. サービス向上のための取組

##### 職員研修・会議

###### ○内部研修

権利擁護・虐待防止（7月・10月・3月）・個人情報保護（4月）

防犯講習（11月）・救命講習（2月）・事故救急時対応（5月）

感染予防研修（10月・12月）

###### ○外部研修

サービス管理責任者等実践研修（3名） 強度行動障害支援実践研修（2名）

###### ○スタッフ会議（毎月）

##### 危機管理対策

ヒヤリハットについては、随時啓発している。内容は職員会議や回覧で全職員が共有している。引きつづき傾向を分析して事故の予防に努めていく。

###### ○ヒヤリはっと 50件（前年度38件）

内容：転倒つまずき等ケガやそのリスクにつながる（21）

返却忘れ・置き忘れ・間違い（5） 見落とし・不注意・連携ミス（4）

キャンセル・時間変更連絡ミス（7）

車両関係（半ドア・ライトつけっぱなし・鍵をさしたまま等）（5）

その他（送迎遅れ・留守番電話切り忘れ・暖房つけっぱなし等）（8）

###### ○事故報告 5件（前年度8件）

内容：車両物損（1）・遊具脱出不能（1）・送迎時窓から物投げ（1）外出先所在不明（2）

###### ○苦情報告 0件（前年度0件）

###### ○防災関係

消防避難訓練（年2回）、洪水時避難確保計画に伴う訓練

定期点検：自主点検（毎日）、業者設備点検（年2回）

###### ○保健衛生管理

職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）

保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

###### ○車両運行管理

配車、日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃 他

**その他**

- 「放課後等デイサービスガイドライン」及び「児童発達支援ガイドライン」に基づく自己評価を実施し、その結果については法人ホームページに公開した。
- にこぬくだよりを月1回発行している。

**【ぬくぬく】短期入所事業**

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事・入浴・睡眠等、各生活の場面において、各利用者のニーズを踏まえた上で、年齢や障害に応じて、場面に応じた適切かつ丁寧な支援をおこなう。</li> <li>○緊急時対応については、優先的に調整して全て受け入れるように努める。</li> <li>○重度の方が多く利用している点をも踏まえて、利用者の人権に対する取り組みを継続しておこない、職員の意識をより一層高める。</li> <li>○感染症対策を万全におこない、安心してご利用いただく。</li> </ul>
------	--

1. 職員体制

管理者1名・生活支援員12名・事務員1名 計14名（うち常勤5名）

※常勤はにこにこ兼務

2. サービス提供実績

**契約者** 73件/定員4名

**契約者状況**

性別	女性22名	男性51名	計73名
----	-------	-------	------

市町村	川島	川越	吉見	上尾	桶川	東松山	北本	坂戸	鶴ヶ島	滑川	嵐山	計
	39	9	6	6	2	5	2	1	1	1	1	73

区分	1	2	3	4	5	6	児童1	児童2	児童3	計
	0	1	5	7	13	37	2	1	7	73

**利用実績数**

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	23	24	23	23	23	24	26	26	26	27	24	26	295
利用者延数	179	183	183	163	180	178	201	203	200	182	190	203	2245
空き枠 (キャンセル数)	1	0	1	7	0	0	1	0	1	1	0	0	12

※職員の体制が整わないため休所日を設けた。なお、「空き枠」欄は休所日分を除いた数である。

### 3. サービス実施状況

- ・前年度からの職員の欠員もあり、引き続き休所日を設けながらの事業運営となった。年度当初は7割程度の開所から、職員採用にあたり少しずつ開所日を増やし年度後半は9割程度の開所日を実施しているが、全営業開所には至っていない。
- ・利用枠の空き状況に応じて、必要な方への声掛けをおこない利用して頂いた。
- ・7月については、法人内別事業所でコロナのクラスターが発生したため、その事業所の方にはお休みいただき対応した。
- ・緊急利用は5件あり、家族の病気や入院等で介護する方がいないため、緊急対応をおこなった。
- ・新規契約者は11件。契約終了者は9件。GHや入所施設に入居が決まった方や介護保険に移行した方などにより契約終了となった。そのため、新規契約が増えた。
- ・利用者が安心、快適に過ごせるように、保護者や各関係機関と連携した。またその内容については、業務日誌や引継ぎ簿の活用により、スタッフ間での共有に努めた。
- ・「重度障害者支援加算」対象者が多く在籍している点を踏まえて、重度障害者に対する研修修了者をなるべく配置し、対応を共有してより適切な支援を行うように努めた。
- ・利用者の様子の引継ぎについては、特に利用者の健康状態、身体の傷の確認等を関係事業所とおこなうようしている。
- ・深夜帯はひとりでの支援となることも踏まえて、職員に対する人権意識の取り組みは、会議等の場を通じて随時啓発に努めている。

### 4. サービス向上のための取組

#### 職員研修・会議

\*にここに参照

#### 危機管理対策

薬に関する報告が目立ったところである。概要について職員会議で共有し、対応を強化した。

○ヒヤリはっと 13件（前年度16件）

内容：返却忘れ、入れ間違い（7）・食事の咽こみ（1）・自傷（2）・薬残り（1）  
連絡ミス（1）・異食（1）

○事故報告 5件（前年度6件）

内容：服薬忘れ（1）・浴槽での転倒（1）・備品破損（2）記録表異食（1）

○苦情報告 0件（前年度0件）

\*防災訓練・保健衛生管理・車両運行管理は、にここに参照